

エリアコンセプト等（案）について

1 勾当台エリアビジョンの内容

勾当台エリアビジョン(特色の明確化)

エリアの目標を示す「エリアコンセプト」
及び
イメージを示す「エリア構想図」

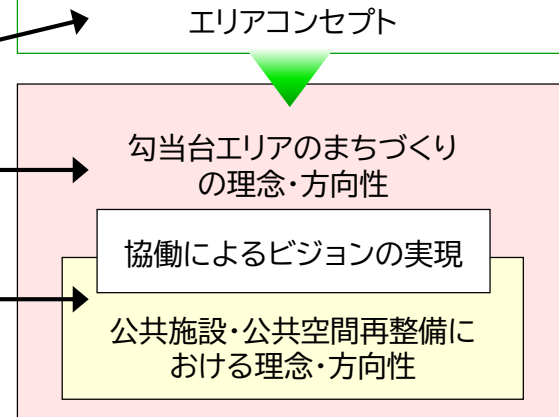
都心における勾当台エリアのあり方や
勾当台エリアの位置付け・現状等

- 勾当台エリアを外部から見たときの都心全体や他のエリアとの関係性を、また、勾当台エリアの内部にフォーカスしたまちの資源や土地利用状況等の地域性を踏まえ、勾当台エリアのあり方、位置付け、現状などに基づく「エリアコンセプト」を掲げるとともに、そのイメージを視覚的に示す「エリア構想図」を作成する

2 エリアコンセプトの構成

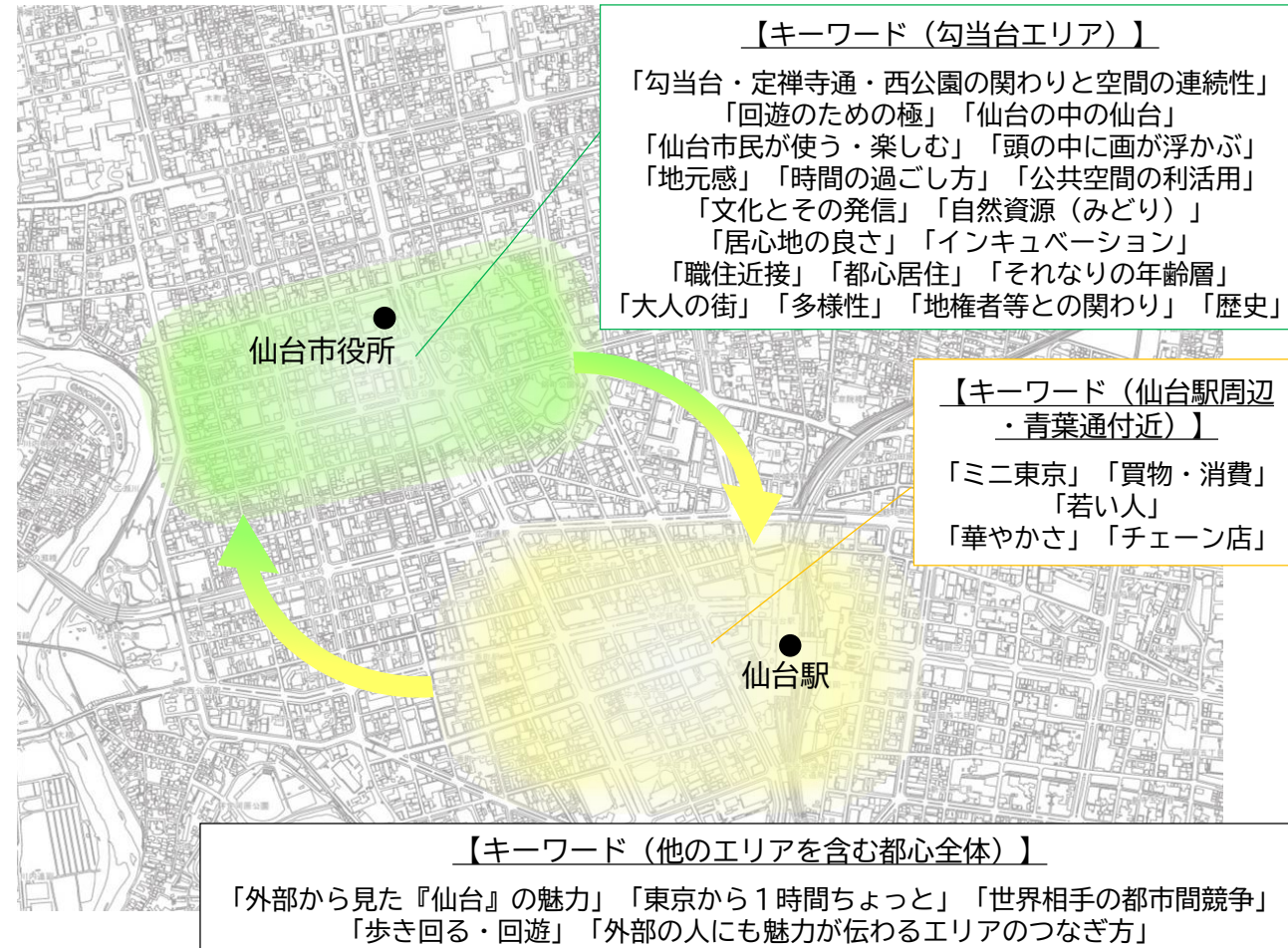
3つの視点(第1回懇話会 資料5より)

- (1) 都心における勾当台エリアのあり方
- (2) 今後の都市機能誘導や施策展開に向けた考え方
- (3) 本庁舎建て替え等公共施設再整備に共通する方向性



- 第1回懇話会にてお示しした策定における「3つの視点」について、「都心における勾当台エリアのあり方」をベースに、「今後の都市機能誘導や施策展開に向けた考え方」「本庁舎建て替え等公共施設再整備に共通する方向性」にも関わる内容を「エリアコンセプト」として掲げる
- エリアコンセプトを受け、民有地を含めたエリア全体に対する「勾当台エリアのまちづくりの理念・方向性」を示し、その中に「公共施設・公共空間再整備における理念・方向性」を特記する
- 「勾当台エリアのまちづくりの理念・方向性」において、公・民の取組みが結び付き、相乗効果を発揮するよう、「協働によるビジョンの実現」という考え方を明記する

3 都心における勾当台エリアのあり方（コンセプトのベース）（案）



【キーワード（勾当台エリア）】

「勾当台・定禅寺通・西公園の関わりと空間の連続性」
「回遊のための極」「仙台の中の仙台」
「仙台市民が使う・楽しむ」「頭の中に画が浮かぶ」
「地元感」「時間の過ごし方」「公共空間の利活用」
「文化とその発信」「自然資源（みどり）」
「居心地の良さ」「インキュベーション」
「職住近接」「都心居住」「それなりの年齢層」
「大人の街」「多様性」「地権者等との関わり」「歴史」

【キーワード（仙台駅周辺・青葉通付近）】

「ミニ東京」「買物・消費」
「若い人」
「華やかさ」「チェーン店」

【キーワード（他のエリアを含む都心全体）】

「外部から見た『仙台』の魅力」「東京から1時間ちょっと」「世界相手の都市間競争」
「歩き回る・回遊」「外部の人にも魅力が伝わるエリアのつなぎ方」

<仙台駅周辺や青葉通付近の主な特性・あり方>

- ビジネスや広域交流、都市間交通の拠点として、業務・商業等の機能が高度に集積
- 人やモノ、情報が全国から集まり、東北各地へと展開していく経済・社会活動のハブ

◎東北の中核都市・ハブという強みを最大限に活かし、都市間・国際競争力を意識した“グローバル志向”の発展を目指す

<勾当台エリアの主な特性・あり方>

- 居住・業務・商業・市民活動・文化芸術・憩い・行政等、多種多様な都市機能が同居
 - 仙台の都市イメージ（新総合計画における【都市個性】）につながる資源が色濃く存在
- ① 勾当台公園や錦町公園、定禅寺通などの「豊かな（都心の）みどり」【環境】
 - ② 居住・業務・商業等多様な都市機能が同居し、変化に富んだ街並みを歩きたくなる「多様性・心地よさ」【共生】
 - ③ メディアテーク・彫刻等が存在し、自然地形や江戸時代を由来とする地名が残り、イベントの中心地として親しまれる「文化・芸術・学術」の拠点【学び】
 - ④ 市民広場や国分町など、多くの人々が集い、まちを楽しむ「交流」【活力】
 - ⑤ 公・民がともに積み重ねてきた「歴史・資産」、増加する「居住者・就業者」
【これまでの変化への対応／これからの変化への対応】

◎多機能性や都市イメージの集積という強みを最大限に活かし、仙台らしさを意識した“グローバル志向”の発展を目指す

エリアコンセプト等（案）について

4 エリアコンセプト

(仮) The Greenest “Center” ～「仙台」を生み出すところ～

- 勾当台エリアには、多彩な都市機能をはじめ、これまでの協働の積み重ねにより形成された歴史や公・民の資産が集積するとともに、これからの変化に対応していく力そのものとなる、多くの人々が存在する
- また、都心における豊かなみどりと、個性的・特徴的なゾーンが集まる多様性を有し、文化・芸術・学術に触れ、多くの人々が交流する等、杜の都・仙台を象徴するエリアの1つとなっている

- 仙台が今後、新たな総合計画の下、新たな杜の都“The Greenest City” SENDAI を目指した挑戦を続ける中で、勾当台エリアは、多彩な都市機能や仙台の都市イメージが交差し、公共施設や公共空間、民間施設等がシームレスにつながる(仮) The Greenest “Center” となり、日常と非日常との交わりの中で人々の“滞在”を促進するとともに、地域に根差したグローバルな空間や賑わいを創出し、“仙台の価値”として国内外の多くの人々を魅了することを目指す

多彩な都市機能

居住・業務・商業
市民活動・文化芸術
憩い・行政など

勾当台エリアの資源
【新総合計画の都市個性等とのつながり】

みどり【環境】

多様性・心地よさ【共生】

文化・芸術・学術【学び】

交流【活力】

歴史・資産 / 居住者・就業者
【これまでの変化への対応 / これからの変化への対応】

5 勾当台エリアのまちづくりの理念・方向性

勾当台エリアのまちづくり

<理念>

多彩な都市機能やエリアの資源、人・モノ・価値等の掛合せを軸に、
求心力と創造力の源泉となる

<方向性：ミックス>

建築物の機能・用途やエリアの資源の複合、
多様な主体の協働に焦点を当てた空間・仕組みの創出等を支援

- 勾当台エリアの資源を仙台らしさへとアップデートするべく、「多彩な都市機能やエリアの資源、人・モノ・価値等の掛合せを軸に、求心力と創造力の源泉となる」ことを理念とする

- また、理念を踏まえた方向性として、「ミックス」をキーワードに、建築物の機能・用途やエリアの資源の複合、多様な主体の協働に焦点を当てた空間・仕組みの創出等を支援することで、人々のエリアの滞在時間を延ばすとともに、他のエリアや都心全体に対し、「仙台らしさ」を供給する

6 公共施設・公共空間再整備における理念・方向性

公共施設・公共空間の再整備

<理念>

利用価値の向上を図り、
人々の滞在や活動の“目的地”となる

<方向性：体感>

訪れ、滞在したくなる居心地の良い空間の
創出や活動の様子を感じられるデザイン、
人々の活動を支え、生み出すための情報・場の
提供等を促進

- より多くの人々を惹きつけ、勾当台エリアの資源を生み出し続けるべく、「利用価値の向上を図り、人々の滞在や活動の“目的地”となる」ことを理念とする

- また、理念を踏まえた方向性として、「体感」をキーワードに、人々が訪れ、滞在したくなる居心地の良い空間の創出や活動の様子を感じられるデザイン、様々な活動を支え、生み出すための情報・場の提供等を促進していく

7 協働によるビジョンの実現

協働によるビジョンの実現

- エリアマネジメントの推進
- 公共施設等の整備・運用
への民間活力の積極導入 等

「ローカル」を「グローバル」へ

- 地権者やテナント、エリア内外の団体・企業・個人等と行政との協働によるエリアマネジメントの推進を図るとともに、公共施設等の整備・運用に対し、民間活力を積極的に導入する

- 公共、民間それぞれが単独では生み出すことができない、新たな施設や街並みの形成、活動等により、人々の“滞在”を促進するとともに、勾当台エリアにしか存在しない、地域に根差しつつ世界を見据えたグローバルな空間や賑わいを創出し、それらを仙台の価値として打ち出す